

SHOW-CASE PROJECT Extra-1

SHOW-CASE PROJECT Extra-2

SHOW-CASE PROJECT Extra-3

Motohiro Tomii:

Conditions of the Figure

人は目の前のものやこと、或いは脳裏に漠然と思い浮かんだものにも何かしらの像を投影しようとする。ぼやけていても像は像だ。先立つイメージがなくとも像は像としかいいようのないものとして出現する。これを「存在」などといって片付けてしまうのは勿体無い。とはいえ、ぼんやりとしたその中心に惑わされるくらいなら、像を像たらしめる条件をその周縁から探してみたらどうだろう。像そのものを問題にするのではなく、像を出現させる仕組みに集中すること。そこに人がものをつくる意味が横たわっているような気がする。

富井大裕
像の条件

2026.10.5 | 月 | — 12.18 | 金 |

11:00-18:00 入場無料 休館日 | 土日祝

(10月31日[土]、11月14日[土]は開館・11月2日[月]、11月16日[月]は休館)

料金別納郵便

慶應義塾大学アート・センターは富井大裕と3年間にわたる展示プロジェクトを実施しています。

展示室という四角い箱、それはまたひとつの「展示ケース」かもしれない。SHOW-CASEは展示の場であり、ケースを見せる(展示のケース)と言うことでもある。作家はそこに何を仕掛け、空間はどう応えるのか。その「出来事」が3年連続するとき、何が見えてくるのか。

小さな展示室から発信する新しい挑戦を是非、ご覧ください。

関連イベント *予定は予告なく変更されることがあります。詳細はウェブサイトをご確認ください。

〔ワークショップ〕開催日 | 2026年10月24日〔土〕14:00- 講師 | 富井大裕

〔トーク〕開催日 | 2026年11月14日〔土〕14:00-

登壇者 | 富井大裕 × 林卓行 (東京藝術大学芸術学科教授) × 梅津元 (批評家/キュレーター)

× 渡部葉子 (慶應義塾大学アート・センター教授/キュレーター)



KEIO
UNIVERSITY
ART
CENTER

主催 | 慶應義塾大学アート・センター

Organized by: Keio University Art Center

108-8345 東京都港区三田2-15-45

2-15-45 Mita, Minato-ku, Tokyo, 108-8345, Japan

Tel. 03-5427-1621 / Fax. 03-5427-1620

<http://www.art-c.keio.ac.jp> ac-tenji@adst.keio.ac.jp